

## CKD(株)に対する きらやか銀行及び山形銀行との連携による協調支援について

－ 蔵王中央高原の面的ブランディングを目指す取り組みの支援 －

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、株式会社きらやか銀行（以下「きらやか銀行」という。）及び株式会社山形銀行（以下「山形銀行」という。）との連携により、CKD株式会社（本社：山形県山形市蔵王温泉、代表取締役：菊地昭貴、池田洋。以下「当社」という。）に対する協調支援を実施することにいたしました（注1）。DBJは、きらやか銀行と共同出資する「じもと創生本業支援ファンド2号投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」という。）（注2）より資本性劣後ローンを実行しました。

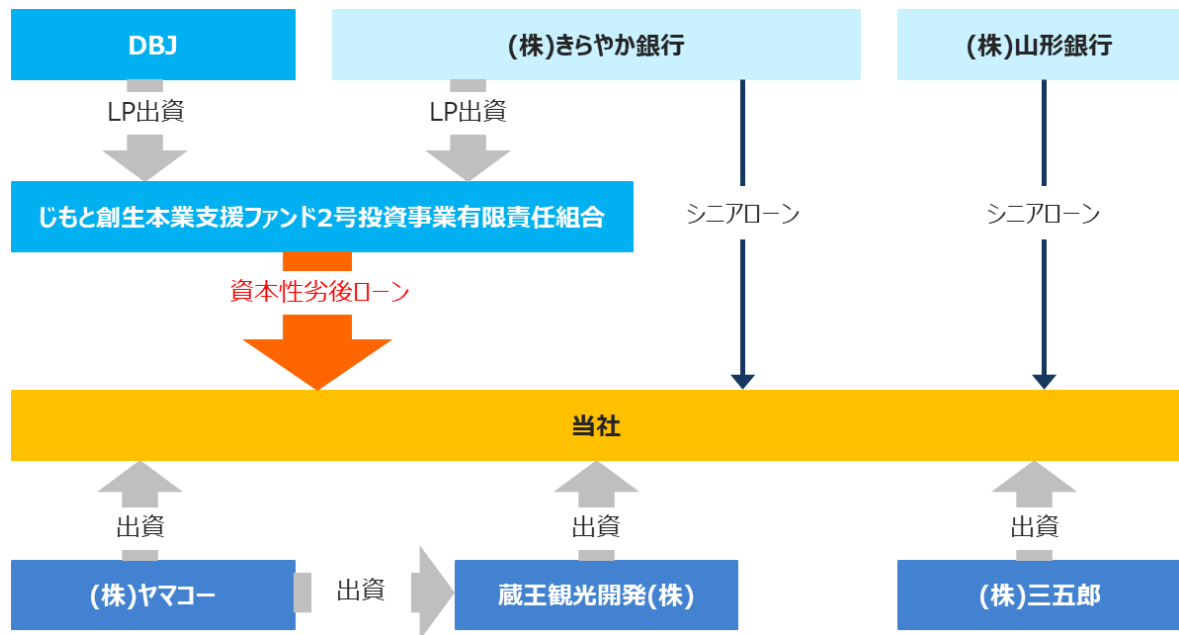
当社は、中央（C）高原（K）をデザインする（D）ことを通じた蔵王中央高原エリア（以下「当エリア」という。）の「目的地化」を目指し、株式会社ヤマコー、蔵王観光開発株式会社及び株式会社三五郎の共同出資により新設された事業者です。当社が2023年12月に蔵王中央ロープウェイ鳥兜駅に開業するカフェ「SORAMADO cafe1387-ISAHANA」では、山形ならではの食材を活用しつつ豊富なメニューを取り揃え、また、展望テラス「霧氷テラス」を併設することで標高1,387mの眺望を楽しみながら寛げる空間を演出します。さらに、2024年以降各種アクティビティなどを充実させていくことで、当エリアを面的にブランディングし魅力的な目的地としていく方針です。

当社の取り組みは、山形県有数の観光地である蔵王において、複数の地元事業者が連携することにより新たな魅力を創出するという点において意義深いものと評価できます。本件は、そうした当社の取り組みをDBJ並びに地元金融機関であるきらやか銀行及び山形銀行が一体となってサポートすることで、当社の持続的な成長及び当エリアの中長期的な活性化を実現しようとするものです。

DBJは、ハード面に強みを持つ株式会社ヤマコー及び蔵王観光開発株式会社と、ソフト面に強みを持つ株式会社三五郎の異分野連携により誕生した当社が、豊かな自然を誇る蔵王の特性を活かした面的なブランディングを推進することで、地域における観光産業の発展及び経済活動の活性化に資するものと評価し、当ファンドを通じ、「特定投資業務（注3）」を活用したサポートを行うことといたしました。

DBJは、今後とも「特定投資業務」を通じた成長資金に係る市場の発展や地域経済の活性化、競争力強化に向けたお客様の取り組みを積極的にサポートしてまいります。

(注1)  
【本件のスキーム図】



(注2)  
【当ファンドの概要】

当ファンドは、山形県を中心に、中堅・中小企業のさらなる成長や事業承継などの取り組みに対して、優先株式や劣後ローンなど多様な金融サービスの提供により地域創生に貢献することを目的に設立されました。

- (1) 名称 : じもと創生本業支援ファンド2号投資事業有限責任組合
- (2) 規模 : 10億円
- (3) 設立 : 2020年8月
- (4) 出資者 : 無限責任組合員 (GP) : DBJ 地域投資(株)  
有限責任組合員 (LP) : DBJ、きらやか銀行
- (5) 期間 : 投資期間5年間、存続期間12年間

(注3)  
【特定投資業務について】

民間による成長資金の供給の促進並びに地域経済の活性化及び我が国企業の競争力の強化を図るため、国からの一部出資（産投出資）を活用して、成長資金を時限的・集中的に供給する業務です。

【お問い合わせ先】  
株式会社日本政策投資銀行 東北支店 電話番号 022-227-8183